

薩摩川内市次世代エネルギービジョン策定委員会第7回会合の概要

平成 25 年 2 月 20 日

薩 摩 川 内 市

【ポイント】

1. 1月16日(水)に開催された上記会合において、事務局より以下の項目について説明を行った。
 - (1) ビジョン策定委員会第6回会合の概要について
 - (2) 地域との対話の概要について
 - (3) 市民アンケート結果及びパブリックコメント結果について
 - (4) 次世代エネルギービジョン(案)及びキャッチフレーズ(案)について
 - (5) 行動計画(案)及び具体的事業例について
 - (6) 平成25年度予算に関する事項について
2. 市民アンケート結果及びパブリックコメント結果について、事務局より報告し、委員間での情報共有を図った。
3. 委員からビジョン(案)の細部に至る記載内容や行動計画(案)に係る具体例など、それぞれの項目に対し多岐に亘るコメントがあった。

委員から頂いた主なコメントは以下のとおり。

1. 市民アンケートの結果について

- (1) アンケート調査では、日本の地域社会が抱えている課題が如実に出ており、この結果を踏まえたビジョンになることを期待する。
- (2) 薩摩川内市に暮らす人間として、アンケート結果と同じようなことを感じており、この結果はまちの現状を表しているのではないか。

2. パブリックコメントについて

- (1) 国が緊急経済対策を行うという中で、市として緊急経済対策に絡んで、どういう形で次世代エネルギーを推進していくのか具体的にしてほしい。
- (2) 政権がどうであれ、市民参加という点に関しては今まで以上に期待されるので、どこで市民参加が期待されるのか分かりやすくするとよいのではないか。

3. 次世代エネルギービジョン(案)について

- (1) 電気自動車導入には色々な問題があり、ハイブリッド車が中心になるという報道もある中で、あえて「電気自動車等のエコカー」とするのか。
- (2) ロードマップについて、規模感やスケジュール感を具体化することで、市民にも身近に感じられるようになるのではないか。
- (3) 学校教育などの永劫性に疑問視している若い人のアンケート結果があったので、それに対する対応が本文中にあったほうがいいのではないか。
- (4) ロードマップを担っていく人材やキーパーソンについて、アクションプランごとに落とし込んでいけば、より活きたプロジェクトになっていくのではないか。
- (5) 目標が書かれていないと思う人もいるかも知れないので、その趣旨を強調してはどうか。

4. キャッチフレーズ(案)について

- (1) 市民が主役の一人であるということでは、「みんなで創る」が入ったほうがよいのではないか。
- (2) 「エネルギーのまち 薩摩川内」にサブタイトルを付けてはどうか。

(当日欠席の荒木委員からのコメント)

5. 行動計画(案)及び具体的事業例について

- (1) 原子力から再生可能エネルギーまで色々なエネルギーがあるので、都会の学生が薩摩川内市に来て、自然を楽しみながらエネルギーを学ぶという修学旅行も面白いのではないか。
- (2) エネルギーをテーマにした観光はあまり聞いたことがないので、どう仕立て上げるかであるが、学校をターゲットにするのは一つのアイデアではないか。
- (3) 研究開発シナリオについては、少しアカデミックな気もするが、実現できれば面白いのではないか。

以上